

令和会 行政視察 報告書

令和 5 年 7 月 12 日

作成 令和会 副会長 原田

1. 目的 加須駅南口の開発にあたり、先進事例である泉大津市の市民会館跡地の開発、刈谷市の 5G を生かした医療情報の共有、半田市の DX を活用した農業政策を視察し加須市の課題の方向性を検討する資料とする。

2. 結果（加須市に反映できる成果）

泉大津市の試みから

シーパspark の実際を視察することで、開発計画の実態を肌で感じる事ができた。

開発の手法、計画の進め方等、加須駅南口のスーパーシティ構想に生かして行ける視察になった。

刈谷市の試みから

5G を活用した医療への活用・応用は、トヨタグループがあることで、強力に推進されているように感じられた。高齢化の進行から睡眠センサーなど、加須市での応用も期待できる装置が見られた。

半田市の試みから

半田市は、畜産業が 80%、その他が 20%。知多牛は、既にブランド化されているとのこと。

米作の後継者不足対策や新規営農者の育成を進めるため、県が進める施策に応募したとのこと
一年に一度のデータしか取れないため、AI の活用等十分ではないが、今年度もデータ取得を
続けてゆくとのこと。先進事例として注目してゆきたい。

3. 行政視察日時：令和 5 年 7 月 3 日（月）～5 日（水）

4. 行政視察先：①大阪府泉大津市役所 ②愛知県刈谷市役所 ③愛知県半田市役所

5. 視察者：令和会 9 名（関口、新井、原田、竹内、中島、赤坂、内田、山本、小坂）

6. 行政視察先財政規模等の比較表

	埼玉県 加須市	大阪府 泉大津市	愛知県 刈谷市	愛知県 半田市
令和 5 年度当初 一般会計予算(千円)	39,558,000	39,498,707	563,360,000	44,810,000
議員数(人)	25	16	28	22
面積(km ²)	133.30	14.31	50.39	47.42
総人口(人)	111,018	73,131	153,241	115,779
人口密度(人/km ²)	833	5,110	3,041	2,442
市の花	コスモス	サツキ	カキツバタ	サツキ
市の木	サクラ	クスノキ	クスノキ	クロマツ

7. 行政視察概要

7.1 泉大津市

泉大津市役所の住所：(大阪府泉大津市東雲町9-12)

7.1.1 泉大津市の概要

- ① 泉大津市(いずみおおつし)は、大阪府の泉北地域に位置する市。大阪駅まで20分、関空まで20分。市内は、ほぼ起伏がなく、平坦。市名は和泉国の国府の外港(国津)であったことに由来する。

和泉木綿の集散地となった江戸時代に真田紐をはじめとした繊維産業が興ると、これを地盤に明治以降毛布の製造が始まり、「毛布のまち」として発展した。現在も国内産毛布においては9割超のシェアを占める。

- ② 泉大津市長 南出 賢一の令和5年度の施政方針の内、今回の視察に関連した事項を抜粋

5点目「コンパクトで居心地のよいまちづくり」についてでございます。

官民連携・市民共創により、都市ブランド「アビリティタウン」の形成を先導する場として、市民会館等跡地に市街地の中でもより“みどり”を感じることのできるシーパスパークエリアの供用を開始します。今後、シーパスパークエリアでは、民間ノウハウを最大限活用するとともに、市民が主体となった空間づくりをめざします。供用開始に先立って、周辺道路改良工事を竣工させ、当該地域の防災性及び利便性の向上を図ります。

以上が令和5年度に向けての私の市政運営の基本方針ですが、結びにあたりまして、例年同様に市民の皆様へ「3つのお願い」があります。それは、あいさつ、ごみ拾い、みどりを増やす運動です。「人と人のつながりを大切にする」「まちを綺麗にする」「みどりを育む」まちづくりを基本とし、市民の皆様一人ひとりとともに、小さなアクションを積み重ねていきたいと思っています。一人の力は微力であっても無力ではない。「一燈照隅 万燈照国」という言葉のように、一人ひとりが持つ力を信じています。自然との調和、お互い様、おかげ様、利他の心など、日本が古来より紡いできた和の心を、職員、市民の皆様と大切にしながら、泉大津市を前に進めていくために全力を尽くす所存です。

令和5年2月20日 泉大津市長 南出 賢一

- ③ コミュニティバス（ふれあいバス）の運用あり

ふれあいバスとは、

市民からの新たなバス路線を望む声が高まったため、福祉バス「ふれあいバス」を中日臨海バスへ委託して運行。高齢者・障害者・妊婦などの社会参加促進を目的として運行されているため、乗車はこれらの人に限られている。運賃は無料。

7.1.2 視察目的

市民会館等跡地活用基本計画の進捗状況とここまでに至る経緯から加須駅南口開発の先進事例として研究し、加須市南口の開発の参考とする。

- ① 視察状況

堀口議長の歓迎のご挨拶から令和会関口会長からお礼の挨拶の後、都市づくり政策課八木課長及び高井課長補佐から市民会館等跡地活用基本計画の進捗状況についての説明あり。

以下の理由から開発の検討のきっかけとなったとのこと。

泉大津中央線の延長から、土地の先行買収を行ったこと。

南海線の連続立体交差事業が進められたこと。

消防本部が津波浸水想定地域なこと。

西側地区の再活性化が必要なこと。

臨海部との連携が必要なこと。

これらのことから、市が主体となって、活用を検討することとなったとのこと。

質疑応答の後に、現地視察を行う

跡地の公園は、高いビルに囲まれた環境でありながら、小学生や自転車でやってきたと思われる親子が、かけっこ、水遊びをして、楽しそうな空間が広がっていた。

全体が芝生。泥んこ遊びができるエリア、綺麗な水路のあるエリアなど自然を大切にしていた公園となっていた。

② 質疑応答

	質問事項	回答
1	公募設置管理者制度 (Park-PFI) は、今回の開発では、有効でしたか どのように有効利用されましたか。	本公園では、PARK-PFI は、現時点では、導入していません。
2	都市ブランド「アビリティタウン」が都市の魅力を向上させるという仕組みについて、教えてください	本市では、身体及び認知機能や能力、技量、才能など広く健康を「アビリティ」と捉え、市民一人一人が「能力」「技量」「才能」を伸ばせる環境整備や身体機能を取り戻す「あしゆびプロジェクト」等のアビリティ関連事業を教育の場でも実践しています。このような健康増進のための選択肢を増やし、市民が、心身ともに健康を体感することで、泉大津市民としてのまちへの愛着と誇りをもつシビックプライドが醸成し市の魅力度向上につながると考えています。
3	「少子高齢化に対応した新たな健康関連サービスの創出・提供の場の創出」の中で、「公民連携施設の整備することで」とありますが、内容について教えてください。	公民連携施設とは、民間業者において研究されている新しい取り組みなどを体験できるような施設を広く想定しており、食事を含め様々な健康関連サービスの提供により、市民の健康を増進し介護予防等に資するような活動の提供・実施ができる場となることを目指しています。
4	「ヘルシーパーク」とは、一般的な公園との違いを教えてください	本公園は、ヘルシーパークとして、「心身を整える」をテーマに、自然を感じられる空間を提供するとと

	ださい	もに、健康をテーマにした多様なアクティビティが展開されるよう指定管理制度の導入を行います。
5	「コンテナを用いたスモールスタートの事業展開」について教えてください。	今年度より指定管理者による公園運営が始まったばかりのため具体的な事業展開は、これからとなりますが、現在の予定としましては、令和5年度は、スポット（イベント）利用により試験運用を行い、来年度からは長期利用を見据えた事業展開の募集を行う予定にしており、現在は指定管理者と協議中です。
6	段階別の施設構成 第一段階：小松公園（仮）整備完了・教養開始段階 第二段階：建築用地への公民連携施設整備完了段階 第三段階：広場用地の民間事業者による活用段階 と分けて考えるようになった経緯を教えてください。また、それぞれの段階での事業方式が検討されていますが、長所短所を教えてください	当初、この場所の商業的ポテンシャルは高くないという評価であったため、まずは、市民が求めているより“みどり“を感じることでできる公園整備を目指し、人が集まることが確認できれば民間事業者による出店などを見込めると判断したためです。 それぞれの段階での事業方式については、その時点での公園をとりまく環境によって、異なると思いますので、一概には、お答えすることができません。
7	当初想定した「事業スケジュール」との差異は発生していますか。 その要因は、なんですか。	第一段階のエリアの共有開始については、概ね予定どおり。 第二段階の民間活用用地における便益施設の整備については、当初は教養開始後の様子を見て公募する予定であったが、早い時期に公募し事業者を決定することができたので、想定より早い。 第三段階については、今のところ未定。

○ワークショップを利用した年代別の割合を教えてください。

小学生から60歳を超える方々が満遍なくワークショップに来ていただきました。

○泉大津市役所の周辺は、緑が多い。 来訪者に対する駐車場は足りていますか

隣接する公共施設も利用していただいています。

○指定管理者の応募状況は、どうでしたか

4社の応募がありました。今回は、「イーデザイン」様が中心となって、JVが出来上り、得意な分野をそれぞれ発揮するシステムができました。

○開発にあたっての補助金は、どうなっていますか

国の都市再整備支援基金から1/3をいただきました。

○市民会館が無くなることについての市民の声にどんなことがありましたか

コンサート活動が盛んに行われていたことから、コンサートのできる環境は、維持してほしいとの声が多くありました。常設ではありませんが、コンサートのできる場所は確保しました。

○開発の準備から完成まで、市役所の担当は専任のように配置されましたか

都市づくり政策課 八木課長は、最初から継続してこの任にあたっています。

○障害を持っている方に配慮はされていますか

農園があって、調理もできるような設備があります。調理は、車椅子の方もできるような高さになっており、車椅子の方も収穫のできるようになっています。

③ 泉大津市視察からの所感

市民会館及び消防本部の跡地を含む、おおよそ 4 ㌔の土地の活用計画を視察しました。加須駅南口エリアとの対照としては、泉大津市の土地は、立地的に商業的ポジションは、高くないとの評価もあり、結論として、「みどりを感じる」公園整備が中心となっています。しかも、「ヘルシーパーク」という位置付けの中、心身を整えるをテーマのもと、開発が行われていました。その特質すべきは、民間の土地の先行買収を行った上で 4 ㌔を確保しなおかつ、その一部は、民間業者に販売されたうえ、レストラン、カフェとして、有料でありながら、こちらも別の民間業者の運営となっています。そして、公園部分は、指定管理者による PARF PFI 方式になっていることは、極めて先進的であると感じました。(年間契約金 8,000 万円)
今後加須市においても、活用すべき手法であると思います。

7.2 刈谷市

刈谷市役所（愛知県刈谷市東陽町 1-1）

7.2.1 刈谷市の概要

刈谷市(かりやし)は、愛知県の西三河地方境川を挟んで尾張地方と接している。
豊田自動織機(トヨタ自動車の源流企業)、デンソー、トヨタ紡織、トヨタ車体、アイシン、愛知製鋼(刈谷工場)、ジェイテクトといった トヨタグループ の主要企業が軒並み本社を構える自動車工業都市である。

江戸時代には土井氏 2 万 3000 石の城下町だった。現代にはトヨタグループ 主要企業の本社や工場が集まる日本有数の自動車工業都市となり、トヨタ自動車発祥地のひとつとされる。

デンソーやアイシン、豊田自動織機などトヨタグループ主要企業の本社が多数存在する。同じく西三河地方の豊田市や尾張地方の名古屋市とともに中京工業地帯を構成する工業都市である。

2018 年時点では愛知県で 10 番目の人口を有する。2015 年度の昼間人口比率は 123.1%であり、名古屋都市圏(中京圏)の中心市の 1 つに指定されている。

コミュニティバスとして刈谷市公共施設連絡バスがある。刈谷駅北口周辺は歓楽街であり、飲み屋や風俗店が広がる。刈谷駅南口には商業施設や公共施設がある。

市内を通る鉄道路線は東から南へ抜ける名鉄三河線を除いて概ね東西に建設されており、市内を直接南北に貫通する路線はほとんど存在しない。JR は、ほぼ中心部を、名鉄本線は、北部をそれぞれ東西に貫通している。

市内の南北移動をカバーするために、長距離を走るコミュニティバス路線も複数存在する。

7.2.2 視察目的

刈谷スマートウェルネスプロジェクトの進捗状況から加須駅南口にも必要な医療関連の充実に状況について視察する

① 視察状況

「刈谷スマートウェルネスプロジェクトの進捗状況について 令和5年7月4日」を基に説明あり。「令和3年7月 スマートシティ」で何ができるかの研究会を設立しました。また、県から刈谷市を中心として、モデルにとの問い合わせあり。「子どもの未来」と「将来の備え」をキーワードとして先端技術等を活用して地域の課題解決を図ることとなったとの説明あり。

刈谷スマートウェルネスプロジェクト成果報告あり

(令和4年度 愛知県スマートシティモデル事業として)

1. 5Gを活用した救急医療分野のフィールド実証
2. スマートデバイスによる遠隔診療
睡眠センサーとデジタル聴診器
3. パワーアシストスーツ歩行訓練ロボット等のフィールド実証

② 質疑応答

	質問事項	回答
1	三つの実証実験のそれぞれの効果について、どのような結果が得られましたか	(1) 5Gを活用した救急医療分野のフィールド実証については、音声による情報伝達と比較してリアルタイム映像情報を基にした病状確認による治療方針の共有は、帰院後の早期治療に効果があることを確認できた。 (2) スマートデバイスによる遠隔診療については、独居や認知症患者の日々の生活状況について本人や家族から情報収集が困難であったが、睡眠センサーを活用することで、不眠や生活状況の把握と療養上の課題を発見することができた。 (3) パワーアシストスーツ、歩行訓練ロボット等のフィールド実証については、おむつの交換、離床の作業において腰の負担軽減効果が確認できた。
2	医療現場との密な連携が必要と見えますが、どのような協力関係で進められましたか	「医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院」との連携で、進めることができた。 刈谷豊田総合病院が導入を検討している先端技術であり、実証してみたい取り組みを実施したため、先端技術を実証する企業と医療現場との密な連携ができたと考えられる。
3	実証結果から将来に向けた、進め方を教えてください	実証事業に取り組み着実に成果を積み重ねていき、第8次刈谷総合計画と歩調を合わせて、基本計画の終了年である2032年頃には、分野横断的なサービスを実装し、スマートシティを地域に根付かせることを目標とする。

○それぞれの取り組みに対する補助金額を教えてください。

(5G) 550 万円、(スマートデバイス) 300 万円 (パワーアシスト) 150 万円です。

○既に採用されているシステムは、ありますか

睡眠センサーなどインフラに対する協調システムを整備しています

○子供達に対する利便性はありますか

最先端の技術を体験することで、刈谷市の先進性を認識していただき、住み続ける町を目指しています。幼稚園では、「QR コード」を用いた出欠確認が既に行われています。

○就業率はどのくらいですか

人口は、15 万人。徐々に増えていることから刈谷市が選ばれていると思っています。

トヨタグループの本社が、5 社あることから、昼間の人口は、多いと考えられます。

○戸建て購入価格は、どのくらいですか

4,000 万円 (100 坪) かな 加須市では、2,000 万円

③ 刈谷市に対する所感

トヨタの城下町ということから、資金、情報、人材に恵まれているように感じられた。しかし、将来を見据えて現在何をすべきかを常に意識して行動していたことは、見習うべきことで、私たちは、知恵で、資金が少ないことをカバーして行きたいと思います。

7.3 半田市

半田市役所 (愛知県半田市東洋町 2)

7.3.1 半田市の概要

半田市(はんだし)は、愛知県の尾張地方にある市。知多半島の中央部に位置している。計量特定市。

1937 年(昭和 12 年)、半田町・亀崎町・成岩町が合併して半田市が発足した。知多半島で最初の市制施行であった。その後は新たな合併を経験せず現在に至っている。

江戸時代中期から本格化した醸造業の成長とともに、港湾都市として発達した。明治以降は知多半島における行政の中心となる。太平洋戦争後には鉄鋼や自動車関連産業などの製造業も進出している。名古屋都市圏の中心市の 1 つであり、特に知多地域における政治・経済・文化の中心機能を担っている。

『ごん狐』などで知られる童話作家新美南吉の出身地でもあり、市内には新美南吉記念館があるほか、記念館周辺には童話にちなんだ 花(彼岸花)や畑なども広がっている。

*計量特定市(けいりょうとくていし)は、日本の地方公共団体のうち、計量法第 10 条第 2 項の規定について定める政令(計量法施行令第 4 条)により、同法に定められた計量に関する職務を都道府県に代わって行うことができる市のこと(広義)。政令指定都市、中核市、施行時特例市は自動的に計量特定市となるが、それ以外の市町村及び特別区(ただし実例は市のみ)でも政府が特に認めた場合は指定を受けることが可能である。

半田市に本社を置く知多乗合(知多バス)が市内の一般路線バス全線を運行している。そのうち上池線・亀崎線・鴉根線・花園線については、半田市と知多乗合との協定により、市からの補助金交付により赤字補填が行われているほか、常滑線に対しても国と愛知県からの補助金が交付されている。

こうした市内の路線バス廃止・減便を補うため、市がコミュニティバスとして「半田市公共交通バス」を運行している。

7.3.2 視察目的

農家数の減少や農業就業人口の高齢化といった課題を解決するための圃場管理のDXや収量予測モデルの構築による農業の効率化の有効性を検証している経過を研究することで、加須市も持っている同様な農業課題を解決する先進事例とすること

① 視察状況

半田市のPRビデオで、概要の説明あり。商工農がバランスよく配置されています。

市の特徴として、山車、飯田運河(蔵のある町)、ミツカン本社、半田赤レンガ倉庫。新美南吉(作家 代表作 ゴンキツネ) マスッコト ダシ丸くん あり。

ミツカン本社が市内にあることから、リンゴ酢ドリンク(ミツカン製)の試飲から始まる

今回の施策への応募は、企画課が主導の事業であり、予算は全て、県予算であり、「あいちスマートサステナブル共創チャレンジ」(愛知県の事業です)に半田市が応募して県に採用された事業とのこと。

具体的な事業は、「多様なプレーヤーによる人口減社会における持続可能な自治体政策モデルの共創」「半田市における農業の効率化に向けた実証実験の進捗状況について」資料を基に説明あり。特記とし、必ずしも、成果を求められなかった事業とのこと。

② 質疑応答

	質問事項	回答
1	実証実験からどのような結果が得られましたか	水インデックスの開発 水位センサーを用いて圃場の水の減り具合を予測するモデルの開発を試みました。 圃場の水が無くなるまでの日数等の特性をある程度把握できました。 今後は、田植えの前後の見通しのいい段階において水位センサーを設置して、圃場ごとの見回り頻度や管理負担の低減に役立つ指標が示せるようになればと考えます。
2	専用アプリについて教えてください	Farm AI とは、Listen Field 社が自社開発した農業従

	さい	事者向け営農支援システムです。 水管理や終了予測ができることが特徴です。
3	「実収穫を測定して予測との差を分析」とありますが、結果は、どうでしたか。	終了予測については、良い結果となりませんでした。 データの蓄積が重要であるため、今年度も継続して、Listen Field 社が農家とデータ蓄積を行い、比較検証に取り組んでいます。

○水位センサーで「水を入れる。抜く」は、できますか
できません

○OKSAS（クボタ製）が優れていますが。なぜ、Listen Field 社ですか。
水位センサー、収量予測等の公募で Listen Field 社が応募したからです。

○半田市の農業は、6次産業化に向けてどうしていますか
後継者に夢を持ってもらうため、出会いを求めてもらうために進めてゆきたいと考えています。ただし、半田市は、80%が畜産業です。

○商工会との繋がり、どうなっていますか
農家自体が、ワークショップでの販売はしていますが、自分達でお米の商売しようとする試みが十分ではありません。商工会とのつながりを強化することが必要だと考えています。

③ 半田市に対する所感

農業を意欲的にデジタル化しようとする取り組みは、参考になった。しかし、なかなか成果が得られないとのことは、農業が簡単にデジタル化できない事業であることを改めて実感された。
農業人口が減少することは、共通の課題であることから、省力化、デジタル化等これからの時代に合わせた加須市の農業を考えるきっかけとなった。